



## 淀川河川敷のにぎわいに関するワークショップ 開催報告

開催日時：令和7年12月16日（火）  
午後7時～9時

開催場所：ゆうゆうホール鳥飼西  
参加者数：8名

今回のワークショップでは、枚方市様と京阪HD様に淀川河川敷での取組事例をご紹介いただき、今後の淀川河川敷の賑わい創出に向けた取組内容等の具体化を図りました。当日は、30代～70代の8名が参加いただき、活発な意見が飛び交いました。



### 参加者の感想（一部抜粋）

その道のプロでなければ見えてこない課題がたくさんある。今後は、様々な方々を含めて検討する必要があると感じた。

今回のワークショップで出た意見にはたくさんの可能性があり、今後具体的になっていくのが楽しみ。

今回のワークショップで出た意見の中で実現可能なものは、すぐにでも実行してほしい。

主体的に行動してくれる事業者等の参画も必要である。

今後、河川敷周辺の見学会を行い、問題・課題・取組内容の実現性について共有したい。

### 淀川河川敷のにぎわいに関するワークショップとは？

居住性向上2-Aエリアを対象とした「鳥飼まちづくりグランドデザインワークショップ」を踏まえて「鳥飼ワン！ぱ～く万博」が実現しました。他にも淀川河川敷では鳥飼ワンドの再整備や外来種駆除、「淀川わいわいガヤガヤ祭」など様々な整備・活動が実施されています。

それぞれを単発の成功体験に留めることなく、魅力ある河川敷づくりを推進するために、継続的に議論する場として開催します。また、議論した内容は今後の方策へ反映し、皆様と協働しながら1つずつ確実に実行していくことを目指します。

# 今回の内容

前回までのワークショップで得られたアイデアを踏まえて、淀川河川敷の賑わいづくりを実現していくために活用が考えられる「かわまちづくり制度（※1）」を学び、かわまちづくりを実践している枚方市の取組内容について、枚方市様と京阪HD様にご紹介いただきました。

そのうえで摂津市らしい「かわまちづくり」の実現に向け、自らが関わりたい取組を選定いただき、選んだ取組に対して5W1H（何を、誰が、いつ、どこで、なぜ、どのようにして）や課題・解決策について議論し、まとめた意見を発表していただきました。

討議や発表の内容は「グラフィックレコーディング（※2）」として視覚的にまとめました。

※1 かわまちづくり制度とは：河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取組  
（国土交通省HP <https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyou/machizukuri/>）

※2 グラフィックレコーディングとは：会議やイベントの内容をイラストや図、文字などを使ってリアルタイムに視覚化する手法

## 第2回 淀川河川敷のにぎわいに関するワークショップ 2025.12.16 @ ゆりかきホール 島飼西



# ワークショップの結果を踏まえて

今回は、淀川河川敷の賑わいづくりのために市民の皆様がどのように関わられるのかを考えていただいたことで、今後のかわまちづくりの実現に対して関心が高まる機会となりました。

これまでの意見が実現に向かっていくという実感を持てるよう、できることから1つずつ実行していきたいと考えております。引き続き市民の皆様と意見を交換する場と、広報・情報共有を大切にしながら、今後のかわまちづくり実現に向けてかわまちづくり計画の検討や推進体制の構築（仲間づくり）を進めていきます。

